

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月22日	(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2019/7/5	2019/7/5	2019/7/5			
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/5	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号			
							022			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
1	わりばし	A	03	D	A	2 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
2	缶	B	01	D	A	2 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 7月中に処理希望										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0114
				2019/7/8
調整後保管日時		2019年7月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICW	F1-ICW-209	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	わりばし	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/7/22 9:40	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	缶 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 9:40	1.5 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	G4南エリア							
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	89	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	保温材		B 06	D A	5 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
2					m <sup>2</sup>				
3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0130
				2019/7/9
調整後保管日時		2019年7月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 9:10	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0063

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月23日	(火)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	処理水ライン保温カバー他設置工事関連									
	発生場所	H2エリア			2019/7/10	2019/7/10	2019/7/10				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/7/9	測定者		測定器名	Nal シンチレーター	管理番号 F1-SC-079				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0137
				2019/7/10
調整後保管日時		2019年7月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/23 8:50	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)								
	発生場所	3号機 Rw/B 中操					2019/7/11	2019/7/11	2019/7/11	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-24		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有 0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有 0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有 0.05 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	$\beta$ 有 0.2 mSv/h	
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
 固体廃棄物管理G取合せ済 P2保管

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0142
				2019/7/11
調整後保管日時		2019年7月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/23 9:10	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/23 9:10	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ケーブル類	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/23 9:10	0.2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	不燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/23 9:10	0.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の物品はシート養生にて保管。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業主管理	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	10:00	承認	審査	作成								
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)														
	発生場所	4号機 Rw/B 中操					2019/7/11	2019/7/11	2019/7/11							
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL									
	元請会社				担当者		TEL									
線量測定	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-24							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率						
		①	②	③												
		1	金属ガラ	B 01							D A	3 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有	0.1 mSv/h
		2	機器類・制御盤類	B 03							D A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B 08	D A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	0.05 mSv/h								
4	不燃物その他	B 10	D A	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	$\beta$ 有	0.2 mSv/h								
5					m <sup>3</sup>											

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
 固体廃棄物管理G取打合せ済 P2保管

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0143
調整後保管日時				2019年7月25日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	90 $\mu$ Sv/h	220 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/25 9:00	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類	5 $\mu$ Sv/h	90 $\mu$ Sv/h	220 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/25 9:00	1 m <sup>3</sup>			1
	3	1	ケーブル類	5 $\mu$ Sv/h	90 $\mu$ Sv/h	220 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/25 9:00	0.5 m <sup>3</sup>			1
	4	1	不燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	90 $\mu$ Sv/h	220 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2019/7/25 9:00	0.5 m <sup>3</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の物品はシート養生にて保管。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月22日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事								
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内					2019/7/16	2019/7/13	2019/7/13	
	作業主管G	電気機器グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-379	
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
	1	型枠材(木材類)	A 03	D B	5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	6 μSv/h	無		
	2				m <sup>3</sup>					
	3				m <sup>3</sup>					
	4				m <sup>3</sup>					
5				m <sup>3</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0178
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	型枠材(木材類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/22 9:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事							
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内					2019/7/16	2019/7/13	2019/7/13
	作業主管G	電気機器グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-373
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	型枠材(木材類)	A 03	D B	5 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
	4				m <sup>3</sup>				
5				m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0179
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	型枠材(木材類)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/7/23 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事						
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内					2019/7/16	2019/7/13
	作業主管G	電気機器グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-373
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	鉄くず(鋼管杭、鉄筋他)	B 01	D B	5 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h	無
	2				m <sup>2</sup>			
	3				m <sup>2</sup>			
	4				m <sup>2</sup>			
	5				m <sup>2</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0180
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず(鋼管杭、鉄筋他) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/7/24 10:00	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月22日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア					2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	鉄筋・番線くず	B	01	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	不燃その他	B	10	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0182
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月22日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋・番線くず ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 8:00	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 8:00	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1エリア					2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/15	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	15 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 アスファルトガラ搬出します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0183
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/23 8:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月22日	(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/7/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74			
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ヒューム管	B	10	D	B	5 m	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
	2						m			
	3						m			
	4						m			
5						m				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	07	—	0184
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ヒューム管②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 8:35	3 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月22日	(月)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/7/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β-α 汚染の 有無				
	1	ヒューム管	B	10	D	B	5 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0185
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ヒューム管②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 8:40	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月22日	(月)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1エリア			2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16			
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/7/15	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号 F1-ICWBL-70			
※カテゴリー	No.	保管物名			※カテゴリー	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	玉石	B 10	D B	15 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	2				m <sup>3</sup>					
	3				m <sup>3</sup>					
	4				m <sup>3</sup>					
5				m <sup>3</sup>						
注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 玉石を搬出します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0187
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月22日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	玉石 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/22 8:20	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	玉石 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/22 8:30	5 m <sup>3</sup>			1
	1	3	玉石 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/22 9:05	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月23日	(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	G1エリア			2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16		
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/15	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-70	
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	15 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
	4				m <sup>3</sup>				
5				m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラを搬出します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0188
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/23 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/23 10:20	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事						
	発生場所	G1エリア						
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL	
	元請会社					担当者	TEL	
線量測定	線量測定年月日	2019/7/15		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター
							管理番号	F1-ICWBL-70
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	15 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
入 欄	2				m <sup>3</sup>			
	3				m <sup>3</sup>			
	4				m <sup>3</sup>			
	5				m <sup>3</sup>			
	メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラを搬出します。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0189
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ(玉石混入) ⑪	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/24 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
1	2	2	コンクリートガラ(玉石混入) ⑪	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/24 8:45	5 m <sup>3</sup>			1
1	3	3	コンクリートガラ(玉石混入) ⑪	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/24 10:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	9:00		承認	審査	作成											
	作業件名	仮設③、⑨変圧器負荷移設工事																		
	発生場所	情報棟南側						2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16										
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL												
	元請会社					担当者		TEL												
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	鉄屑	B						01	D	B	5	m <sup>3</sup>	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0190
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄屑①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/23 9:20	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載。												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	10:00		承認	審査	作成											
	作業件名	仮設③、⑨変圧器負荷移設工事																		
	発生場所	情報棟南側						2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16										
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	木屑	A						03	D	B	5	m	5	μSv/h	5	μSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
注: α有、β・α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0191
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木屑	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/23 10:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	仮設③、⑨変圧器負荷移設工事								
	発生場所	情報棟南側					2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物その他	B	10	D	B	5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0192
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 8:55	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	仮設③、⑨変圧器負荷移設工事									
	発生場所	情報棟南側			2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16				
	作業主管G	所内電源グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号 F1-ICWβL-108				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
	1	可燃物その他	A	04	D	B	5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0193
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/24 10:00	3.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0013

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	仮設③、⑨変圧器負荷移設工事							
	発生場所	情報棟南側					2019/7/16	2019/7/16	2019/7/16
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108	
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	難燃物その他	C 04	D B	2.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2	難燃シート類	C 02	D B	1.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	4	ゴム類	C 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
5									
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0194
				2019/7/16
調整後保管日時		2019年7月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-126	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/25 8:45	2.4 m <sup>2</sup>			1
	1	2	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/25 8:45	4 m <sup>2</sup>			2
	2	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/25 8:45	1.3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/25 8:45	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/25 8:45	0.1 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月22日	(月)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事					
	発生場所	H5タンクエリア			2019/7/17	2019/7/16	2019/7/16
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/10	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	金属ガラ	B 01	W B	1 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h 無
	2	塩化ビニール類 シート他	B 05	W B	2 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h 無
	3	不燃物その他 消火器粉他	B 10	W B	2 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h 無
	4				m <sup>2</sup>		
	5				m <sup>2</sup>		
	自社運搬						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0195
				2019/7/17
調整後保管日時		2019年7月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	3	1	不燃物その他 消火器粉他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 8:55	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月22日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域					2019/7/17	2019/7/17	2019/7/17	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12		
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0196
				2019/7/17
調整後保管日時		2019年7月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	2	1	機器類・制御盤類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/22 9:30	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域								
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/7/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0197
				2019/7/17
調整後保管日時		2019年7月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	2	1	機器類・制御盤類 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/23 9:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002		固体廃棄物管理G記入欄		受付																																				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年7月25日		(木)		8:30		承認		審査		作成		受 付 番 号																																			
	作 業 件 名		土捨場北側土地造成工事																																															
	発 生 場 所		1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)								2019/7/17		2019/7/17		2019/7/17		2019/7/17																																	
	作 業 主 管 G		廃棄物基盤グループ								監 理 員		TEL																																					
	元 請 会 社										担 当 者		TEL																																					
	線量測定年月日		2019/7/16		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-74																																			
	No.		保 管 物 名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率																																			
	1		金属ガラ		B 01 D A		5 m <sup>3</sup>		3 μSv/h		3 μSv/h		無																																					
	2						m <sup>3</sup>																																											
	3						m <sup>3</sup>																																											
4						m <sup>3</sup>																																												
5						m <sup>3</sup>																																												
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年7月25日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-42</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容					測定日	2019年7月25日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-42		2					3					4				
線量測定内容																																																		
測定日	2019年7月25日																																																	
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																															
1		ICWBL	F1-ICWBL-42																																															
2																																																		
3																																																		
4																																																		
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																						
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 8:25	4 m <sup>3</sup>			1																																						
									m <sup>3</sup>																																									
									m <sup>3</sup>																																									
									m <sup>3</sup>																																									
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																		
メ モ																																																		

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	
				06	—	07	—	08	—
B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	15			
C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05			
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	04	05			
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	04	05			
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002																																																																																																				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年7月25日		(木)	9:00		承認	審査	作成																																																																																																				
	作業件名		土捨場北側土地造成工事																																																																																																											
	発生場所		1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/7/17	2019/7/17	2019/7/17																																																																																																			
	作業主管G		廃棄物基盤グループ		監理員		TEL																																																																																																							
	元請会社				担当者		TEL																																																																																																							
	線量測定年月日		2019/7/16		測定者		測定器名		ICWBL																																																																																																					
							管理番号		F1-ICWBL-74																																																																																																					
	No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																	
	1		金属ガラ		B 01 D A		5 m <sup>3</sup>		3 $\mu$ Sv/h		3 $\mu$ Sv/h	無																																																																																																		
	2						m <sup>3</sup>																																																																																																							
3						m <sup>3</sup>																																																																																																								
4						m <sup>3</sup>																																																																																																								
5						m <sup>3</sup>																																																																																																								
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																														
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.																																																																																							
	1		1		金属ガラ①		5 $\mu$ Sv/h		5 $\mu$ Sv/h				エリアP1(屋外)		2019/7/25 9:20		4 m <sup>3</sup>						1																																																																																							
																	m <sup>3</sup>																																																																																													
																	m <sup>3</sup>																																																																																													
																	m <sup>3</sup>																																																																																													
																	m <sup>3</sup>																																																																																													
																	m <sup>3</sup>																																																																																													
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																													
	メ モ																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">※カテゴリー</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th>06 —</th> <th>07 —</th> <th>08 —</th> <th>09 —</th> <th>10 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13 石綿含有物(はつり屑等)</td> <td colspan="2">14 —</td> <td colspan="2">15 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03 —</td> <td colspan="2">04 —</td> <td colspan="2">05 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③ 履歴</td> <td colspan="7">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</p> <p>注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</p> <p>注5: <math>\beta</math> 汚染有の場合、表面線量率欄には「<math>\gamma</math>」のみの線量率を記載し、<math>\beta + \gamma</math> 線量率欄に「<math>\beta + \gamma</math>」の線量率を記載すること。<math>\beta</math> 汚染無の場合は、<math>\beta + \gamma</math> 線量率の記載不要。</p> <p>注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。</p>																							※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		①	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																																																		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —																																																																																																						
①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																			
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																			
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —																																																																																																			
①	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																																			
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																																			
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																								

固体廃棄物管理G記入欄		受付	
受 付 番 号			
廃2019	—	07	— 0199
調整後保管日時			2019年7月25日 9:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月25日	(木)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	土捨場北側土地造成工事					
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/7/17	2019/7/17	2019/7/17
	作業主管G	廃棄物基盤グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/16	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の 有無
	1	金属ガラ	B 01	D A	5 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h 無
	2				m <sup>3</sup>		
	3				m <sup>3</sup>		
	4				m <sup>3</sup>		
	5				m <sup>3</sup>		
	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0200
				2019/7/17
調整後保管日時		2019年7月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)									
	発生場所	4号機 Rw/B 中操					2019/7/17	2019/7/17	2019/7/17		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-24		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	5						m <sup>2</sup>				
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G殿打合せ済 P2保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0201
				2019/7/17
調整後保管日時		2019年7月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/7/23 8:40	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/7/23 8:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ケーブル類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/7/23 8:40	0.2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	不燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/7/23 8:40	0.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の物品はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月24日	(水)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	H4エリア			2019/7/17	2019/7/17	2019/7/17				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-12				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0202
				2019/7/18
調整後保管日時		2019年7月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/24 8:50	6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015301 - 0009

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(A, B)設置及び同関連除却									
	発生場所	1号機T/B 2号機T/B 3号機T/B						2019/7/18	2019/7/17	2019/7/17	
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/7/8		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	キムタオル・ダンボール	A	01	W	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
	2	ゴムマット	C	01	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
3	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h	
4	エフレックス・単管キャップ	C	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h	
5	不燃シート・安全帯・鉄くず	B	10	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h	
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0203
				2019/7/18
調整後保管日時		2019年7月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICW	F1-ICW-179	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル・ダンボール	5 μSv/h	5 μSv/h	500 μSv/h	エリアW1	2019/7/23 10:40	0.05 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	2	1	ゴムマット	5 μSv/h	5 μSv/h	40 μSv/h	エリアW1	2019/7/23 10:40	0.1 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	3	1	難燃シート	5 μSv/h	40 μSv/h	180 μSv/h	エリアW1	2019/7/23 10:40	0.1 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	4	1	エフレックス・単管キャップ	5 μSv/h	5 μSv/h	80 μSv/h	エリアW1	2019/7/23 10:40	0.05 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	5	1	不燃シート・安全帯・鉄くず	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2019/7/23 10:40	0.1 m <sup>2</sup>		ZK-02151	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
FU-00149表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=60 μSv/h, β + γ 線量率=60 μSv/h ZK-02151表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=15 μSv/h, β + γ 線量率=15 μSv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状 態	D: 乾燥, W: 湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰 囲 気 線 量 率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
			①	②	③									
	6	紙・ダンボール	A	01	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.025	mSv/h	無		
	7	トンパツク	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	8	ビニール	A	02	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.004	mSv/h	無		
	9	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	10	グリーントラフ	C	04	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.001	mSv/h	0.013	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	07	—	0203

保管 実績 記録 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	紙・ダンボール	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアB	2019/7/23 10:30	0.2	m <sup>3</sup>			2
	7	1	トンパツク	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアB	2019/7/23 10:30	0.7	m <sup>3</sup>			2
	8	1	ビニール	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアB	2019/7/23 10:30	0.1	m <sup>3</sup>			2
	9	1	難燃シート	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアB	2019/7/23 10:30	0.2	m <sup>3</sup>			2
	10	1	グリーントラフ	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアB	2019/7/23 10:30	1.6	m <sup>3</sup>			2
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0062

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月24日	(水)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	6T SWストレナ点検手入(2019年)																		
	発生場所	6号機ASWP出口ストレナエリア			2019/7/18	2019/7/18	2019/7/18													
	作業主管G	機械グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号													
							F1-ICW-269													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	A	2	m <sup>3</sup>	1	$\mu$ Sv/h	1	$\mu$ Sv/h	無	
		2	金属スラッジ	B						01	D	A	0.1	m <sup>3</sup>	1	$\mu$ Sv/h	1	$\mu$ Sv/h	無	
		3												m <sup>3</sup>						
		4												m <sup>3</sup>						
5							m <sup>3</sup>													

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
企業殿持込み

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	07	—	0204
				2019/7/18
調整後保管日時		2019年7月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:15	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	金属スラッジ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:15	0.1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)									
	発生場所	4号機R/B/ハウスボイラー室					2019/7/18	2019/7/18	2019/7/18		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/12	測定者		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-017		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃物(コンクリートガラ)2019FU-00237	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
	2	不燃物(コンクリートガラ)2019FU-00231	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.025 mSv/h	β有	0.025 mSv/h
	3	不燃物(コンクリートガラ)2019FU-00240	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.5 mSv/h	β有	0.5 mSv/h
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0205
				2019/7/18
調整後保管日時		2019年7月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00237)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/7/25 10:30	6 m <sup>3</sup>		FU-00237	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00231)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/7/25 11:10	6 m <sup>3</sup>		FU-00231	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ  
No.1,2の物品は6m3コンテナ2基に分けて収納。  
No.3の物品は中止。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月23日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事								
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内						2019/7/18	2019/7/18	
	作業主管G	電気機器グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	支持碍管(金属付)	B	03	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.032 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0206
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	支持碍管(金属付) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/23 9:35	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事						
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内					2019/7/18	2019/7/18
	作業主管G	電気機器グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β + γ 線量率
	1	支持碍管(金属付)	B 03	D A	4 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.032 mSv/h	無
	2				m <sup>2</sup>			
	3				m <sup>2</sup>			
	4				m <sup>2</sup>			
	5				m <sup>2</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0207
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	支持碍管(金属付) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 9:30	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月25日	(木)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事					
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内			2019/7/18	2019/7/18	2019/7/18
	作業主管G	電気機器グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	ケーブル(裸架線)	B 08	D A	4 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.029 mSv/h
	2				m <sup>2</sup>		
	3				m <sup>2</sup>		
	4				m <sup>2</sup>		
	5				m <sup>2</sup>		
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0208
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル(裸架線) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 9:10	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	伐採木						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月26日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事								
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内						2019/7/18	2019/7/18	
	作業主管G	電気機器グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/7/3	測定者			測定器名	電離箱サーバイメータ		管理番号	
									F1-ICW-166	
No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ケーブル(裸架線)	B	08	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.029 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0209
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		ケーブル(裸架線) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 9:00	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日	(水)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事					
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)			2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19
	作業主管G	建築水対策グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/17	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-282
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h
	2					m <sup>2</sup>	
	3					m <sup>2</sup>	
	4					m <sup>2</sup>	
	5					m <sup>2</sup>	
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0211
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	蛍光灯	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/7/24 8:40	0.5 m <sup>2</sup>		ZK-02151	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=15  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=15  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」; B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事									
	発生場所	エバポ周辺～C2エリア				2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19			
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/6/20	測定者		測定器名	F1-ICW-331	管理番号	F1-ICWBL-34			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	金属ガラ	B	01	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0218
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 9:20	2.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月26日		(金)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】							
	発生場所	構内ヤード(水処理建屋)						2019/7/19	2019/7/19
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/7/17	測定者		測定器名	γシンチレーション	管理番号	F1-SC-090	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	機器類・制御盤類(冷凍乾燥機)	B	03	D	A	1 m	3 μSv/h	5 μSv/h	無
2	不燃物その他(エアフィルター他)	B	10	D	A	0.1 m	3 μSv/h	5 μSv/h	無
3						m			
4						m			
5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0219
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類(冷凍乾燥機)①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 9:10	0.5 m			1
	2	1	不燃物その他(エアフィルター他)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 9:10	0.01 m			1
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンクリリース関連工事							
	発生場所	Eエリア(P-26)					2019/7/19	2019/7/19	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/7/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-142	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③				β + γ 線量率	
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>		
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

受 付 番 号			
廃2019	—	07	— 0220
2019/7/19			
調整後保管日時		2019年7月25日	
		9:00	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	耐圧ホース	5 μSv/h	5 μSv/h	3 mSv/h	エリアW1	2019/7/25 9:50	2.5 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=60 μSv/h, β + γ線量率=60 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。





# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月26日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	Eタンクエリア						2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/7/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	保温材	B	06	D	B	2.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	金属ガラ	B	01	D	B	2.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	不燃物その他(石膏ボード)	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
4	不燃物その他(防災シート)	B	10	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	不燃その他	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0222
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 8:40	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 8:40	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物その他(石膏ボード)②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 8:40	0.3 m <sup>2</sup>			1
	4	1	不燃物その他(防災シート)②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 8:40	1.5 m <sup>2</sup>			1
	5	1	不燃その他②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 8:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月26日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G4南エリア					2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/12	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	89		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	ウエス	A	01	W	B	1 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無
	2	ポリ	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無
	3	雑可燃	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0223
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/7/26 9:30	0.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ポリ	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/7/26 9:30	3.8 m <sup>2</sup>			1
	3	1	雑可燃	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/7/26 9:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0060

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	5T HVAC屋外空調ダクト点検工事									
	発生場所	5号機 T/B屋上及びヤード					2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19		
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/16	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-022			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	3	木材類	A	03	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	4	可燃物その他	A	04	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	5						m <sup>2</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0224
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/24 10:35	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/24 10:35	0.02 m <sup>2</sup>			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/24 10:35	0.03 m <sup>2</sup>			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/7/24 10:35	0.05 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月24日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	5号機 T/B屋上及びヤード					2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19	
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G	線量測定年月日	2019/7/16	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-022		
記入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	金属ガラ(足場材)	B 01	D	A	3 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2	金属ガラ(圧縮機)	B 01	D	A	0.01 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	3	金属ガラ(ポンベ)	B 01	D	B	0.8 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	4	金属ガラ(番線屑)	B 01	D	A	0.01 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
5	ケーブル類	B 08	D	B	0.01 m <sup>2</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無		
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	07	—	0225
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(足場材) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:40	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ(圧縮機) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:40	0.01 m <sup>2</sup>			1
	3	1	金属ガラ(ポンベ) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/7/24 10:40	1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	金属ガラ(番線屑) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:40	0.01 m <sup>2</sup>			1
	5	1	ケーブル類 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/24 10:40	0.01 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1FP 共用プール設備修理工事									
	発生場所	共用プール建屋 / 2FL / ろ過脱塩器室					2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19		
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/5	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	難燃シート	C	02	D	B	0.35 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.025 mSv/h
	2	ポリ袋	A	02	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.04 mSv/h
	3	ウエス	A	01	W	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β有	0.8 mSv/h
	4	スコッチライト	A	04	D	B	0.01 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.04 mSv/h
	5	腕長ゴム手袋	C	01	D	B	0.01 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0226
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.05 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	2	1	ポリ袋	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.03 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	3	1	ウエス	5 μSv/h	150 μSv/h	350 μSv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.02 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	4	1	スコッチライト	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.03 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	5	1	腕長ゴム手袋	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.03 m <sup>2</sup>		FU-00149	1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=200 μSv/h, β+γ線量率=200 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	07	—	0226

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
6	1	ジャバラグリース(空)	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.02	m <sup>3</sup>		FU-00149	1
7	1	テープ屑	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/7/25 11:00	0.02	m <sup>3</sup>		FU-00149	1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0022

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年7月26日	(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1FP 共用プール設備修理工事							
	発生場所	共用プール建屋 / 2FL / ろ過脱塩器室			2019/7/19	2019/7/19	2019/7/19		
	作業主管G	廃棄物設備グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/7/5	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-123		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ(シャクル、ワイヤー他)	B 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	0.02 mSv/h
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
5				m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0227
				2019/7/19
調整後保管日時		2019年7月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(シャクル、ワイヤー他)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/7/26 10:45	0.2 m <sup>2</sup>		ZK-02151	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=15 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=15 $\mu$ Sv/h												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0068

作業主管理	保管希望日時	2019年7月25日		(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5R D/G他点検手入工事(2018)								
	発生場所	5号機 T/B D/G(A)室					2019/7/22	2019/7/22	2019/7/22	
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/6/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	旧D/G部品類	B	03	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	シートパッキン	B	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
入 欄	3	サンドペーパー・スコッチブライト	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4	スプレー空缶	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	5	パール缶蓋	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0234
				2019/7/23
調整後保管日時		2019年7月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	旧D/G部品類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
2	1	1	シートパッキン②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:50	0.05 m <sup>2</sup>			1
3	1	1	サンドペーパー・スコッチブライト②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
4	1	1	スプレー空缶①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
5	1	1	パール缶蓋①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/25 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ
----

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にある物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0066

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年7月26日	(金)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	5R D/G他点検手入工事(2018)					
	発生場所	5号機 T/B D/G(A)室			2019/7/22	2019/7/22	2019/7/22
	作業主管G	機械グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/7/11	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-142
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
	1	その他不燃	B	10	D	B	0.5 m <sup>3</sup> 0.003 mSv/h 0.003 mSv/h 無
	2	サンドペーパー・スコッチブライト	B	10	D	B	0.5 m <sup>3</sup> 0.003 mSv/h 0.003 mSv/h 無
	3	スプレー缶缶	B	10	D	B	0.5 m <sup>3</sup> 0.003 mSv/h 0.003 mSv/h 無
	4						
	5						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	07	—	0235
				2019/7/23
調整後保管日時		2019年7月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	その他不燃 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 10:35	0.05 m <sup>3</sup>			1
	2	1	サンドペーパー・スコッチブライト ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 10:35	0.1 m <sup>3</sup>			1
	3	1	スプレー缶缶 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/7/26 10:35	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。